

令和8年度 いわて分析技術セミナーのご案内

～ ①【前処理実習】定量分析のための前処理法を学ぼう ～

定量分析に欠かせない試料の前処理について、試料導入（原料採取）時の注意点から酸・アルカリ溶解の基礎、サンプル調整、機器分析に至る一連の流れについて、座学と実習を通じて学びます。

「前処理実習」編では、第一線で御活躍の分析担当者から、原子吸光分析測定を行う際の前処理方法（試料採取、酸溶解、マトリックス調整、定容、標準液〔標準物質〕の取扱い）を中心に教示します。

是非、この機会に分析技術のスキルアップを目指しませんか？ 皆様の御参加をお待ち申し上げます。

- 1 日 時 令和8年10月22日（木）10:00 ～ 17:00 [受付] 9:45 開始
- 2 場 所 岩手県工業技術センター（岩手県盛岡市北飯岡2-4-25）
（2階）2-A会議室・化学分析室
- 3 共 催 （地独）岩手県工業技術センター、（公財）いわて産業振興センター
- 4 後 援 （公社）日本化学会 東北支部、（公社）日本分析化学会 東北支部、
INS 岩手県リン資源地産地消研究会、INS 環境リサイクル研究会、(株)島津製作所東北支店
- 5 参加費 無料 ※保護具のほか、分析を希望するサンプル1種類（危険でない）を御持参ください。
- 6 定 員 ものづくり企業 3社・6名 （1社当たり最大2名受入可）
- 7 プログラム

時間	テーマ及び講師	主な内容
10:00	開 講 挨 拶	
～ 10:15	【紹介】工業技術センター保有分析装置の活用事例 岩手県工業技術センター 機能材料技術部 佐々木 昭仁	・ 工業技術センター保有の分析装置の活用術 ・ 施設利用者の分析パターンの鉄則事例
10:15 ～ 10:50	【講習】湿式化学分析のABCと安全確保について 日比製煉(株)日比製煉所（三井金属グループ）分析試料課 小野 浩 講師 ※日本分析化学会誌 編集委員	・ 湿式化学分析の概要について ・ 化学分析に用いる実験器具と使い方 ・ 保護具の準備と化学反応（危険防止）について
10:50 ～ 11:15	【講習】トレーサビリティの確保と正確なサンプリング (同) 小野 浩 講師	・ 天秤の使い方とメンテナンスの基本について ・ トレーサビリティと標準物質について ・ サンプリングの基本について
11:15 ～ 11:40	【講習】試料の準備と前処理の基本操作について (同) 小野 浩 講師	・ 試料のサンプリング・保管・前処理について ・ 酸溶解とアルカリ溶解（試料の溶液化）について ・ 熟練分析技術者が注意する作業ポイント
11:45 ～ 12:00	【実習】サンプルの前処理（乾燥効果）について I (同) 小野 浩 講師 岩手県工業技術センター 素形材プロセス技術部 小野 元	・ 秤量瓶の準備とデシケーター乾燥のポイント ・ サンプル採取と恒量乾燥について ・ サンプル乾燥処理・実習
13:15 ～ 13:30	【実習】サンプルの前処理（乾燥効果）について II (同) 小野 浩 講師 (同) 小野 元、佐々木 昭仁	・ 恒量乾燥後の重量測定（水分測定）について ・ 分析前処理時に必要な確認事項 ・ 実サンプルと恒量乾燥サンプルの測定の違い
13:30 ～ 14:00	【講習】標準物質（標準液）との比較と検量線作成について (同) 小野 浩 講師	・ マトリックスマッチングとは？ ・ 検量線法（検量線溶液と測定溶液の調製）について ・ 標準添加法（測定溶液の調製）について
14:00 ～ 16:00	【実習】サンプルの前処理（酸溶解） (同) 小野 浩 講師、小野 元、佐々木 昭仁、 ※ 保護メガネ/保護靴 準備・着用のこと	・ 試料溶液化方法 ・ 測定溶液液性と測定装置への影響 ・ 廃液の適正管理と処分について
16:00 ～	【応用】アルカリ溶融法と全溶解について (同) 小野 浩 講師	・ アルカリ溶融法について ・ 完全溶解方法について
17:00	アンケート記入/閉会	

- 8 申込方法 参加申込用紙（別紙）により、メールにてお申込み下さい。
（申込締切：10月16日（金）17:00）
- 9 問合せ先 岩手県工業技術センター 機能材料技術部 佐々木 昭仁、村上 総一郎
素形材プロセス技術部 小野 元

TEL：019-635-1115、 FAX：019-635-0311、 E-mail：CD0002@pref.iwate.jp

※ 本セミナーは、公益財団法人いわて産業振興センターからの受託業務「技術力・開発力強化に係る人材育成講習委託業務」の一環で共催します。

※ 風邪等感染予防対策として、体調不良の方は、セミナー参加見合わせの御協力をお願いします。

※ 実習時の事故等発生につきましては責任を負いかねますので、保護具着用（持参・着用必須）と講師及び職員の指示に従い、安全な作業をお願いします。

令和8年度 いわて分析技術セミナーのご案内

～ ②【機器分析実習】原子吸光分析装置を用いた定量方法を学ぼう ～

定量分析の代表例として、原子吸光分析法による元素分析（定量分析）を学びます。

「機器分析実習」編では、装置メーカーの第一線で御活躍の技術者から直接技術指導を受けながら、前日の前処理実習等で得られた測定溶液を用いて、原子吸光分析の実習を行います。実際の装置に触れながら、原子吸光分析装置の使用方法和注意点を学び、検量線の作成とサンプル測定を行います。

是非、この機会に分析技術のスキルアップを目指しませんか？ 皆様の御参加をお待ち申し上げます。

- 1 日 時 令和8年10月23日（金）9:00～16:30 [受付] 8:45 開始
- 2 場 所 岩手県工業技術センター（岩手県盛岡市北飯岡2-4-25）
（2階）2-A会議室・機器分析室
- 3 共 催 （地独）岩手県工業技術センター、（公財）いわて産業振興センター
- 4 後 援 （公社）日本化学会 東北支部、（公社）日本分析化学会 東北支部、
INS 岩手県リン資源地産地消研究会、INS 環境リサイクル研究会、(株)島津製作所東北支店
- 5 参加費 無料 ※ 保護メガネ/保護靴（サンダルではない靴）を準備・着用のこと
- 6 定 員 ものづくり企業 3社・6名 （1社当たり最大2名受入可）
- 7 プログラム

時間	テーマ及び講師	主な内容
9:00 ～ 10:00	【実習】 サンプルの前処理(酸溶解)について 【実習】 標準液の取扱いと検量線の作成について 日比製煉(株)日比製煉所（三井金属グループ）分析試料課 小野 浩 講師 ※日本分析化学会誌 編集委員 岩手県工業技術センター 化学分析担当	(前日の前処理のつづき) 分析サンプル 合計 3 種類 1 鉄鋼標準物質 2 下水汚泥燃焼灰 3 持参サンプル(1種類)
10:00	開 講 挨 拶 ※前処理が完了している参加者は 10:00～となります。	
10:00 ～ 11:00	【講習】 原子吸光分析装置の基礎 (株)島津製作所 Shimadzu Tokyo Innovation Plaza 分析計測事業部 Solutions COE グリーンソリューションユニット インスツルメンツ エキスパートグループ 井門 勇太 講師	・ 原子吸光分析の原理・基礎と装置について ・ 機器利用時の安全確認について ・ 装置準備について
11:00 ～ 12:00	【実習】 原子吸光分析装置における検量線の作成と サンプル測定 (同) 井門 勇太 講師	・ 原子吸光分析装置によるサンプル測定・実習 ※ 岩手県工業技術センター保有の原子吸光分析 装置を用いて実習します。 ・ 前処理(調整)液の導入と測定 ・ 吸光度と濃度の関係について [実際に測定します]
13:15 ～ 14:30		
15:00 ～ 16:00	【演習】 分析結果の確認と結果相違の考察 (同) 小野 浩 講師	・ 前処理の違い(検量線法、標準添加法、アルカリ溶 融)毎の結果確認 ・ 原子吸光分析の振り返り
16:00 ～ 16:15	【参考】 トレーサビリティと分析関連資格について (同) 小野 浩 講師	・ 分析業務に関わる国家資格 ・ トレーサビリティ、社内標準化の取組とは？ ・ 分析器材と標準物質の管理
16:15 ～	技術相談 ・ アンケート記入	
16:30	閉会	

- 8 申込方法 参加申込用紙（別紙）により、メールにてお申込み下さい。
（申込締切：10月16日（金）17:00）
- 9 問合せ先 岩手県工業技術センター 機能材料技術部 佐々木 昭仁、村上 総一郎
素形材プロセス技術部 小野 元

TEL：019-635-1115、 FAX：019-635-0311、 E-mail：CD0002@pref.iwate.jp

※ 本セミナーは、公益財団法人いわて産業振興センターからの受託業務「技術力・開発力強化に係る人材育成講習委託業務」の一環で共催します。

※ 風邪等感染予防対策として、体調不良の方は、セミナー参加見合わせの御協力をお願いします。

※ 実習時の事故等発生につきましては責任を負いかねますので、保護具着用（持参・着用必須）と講師及び職員員の指示に従い、安全な作業をお願いします。

【セミナー申込用紙】

(地独) 岩手県工業技術センター 機能材料技術部 佐々木昭仁 宛

申込締切日 (10月16日(金) 17:00)

※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

令和8年度 いわて分析技術セミナー

10月22日(木)、10月23日(金)開催

企業名	
ご住所	
連絡先	お名前 TEL FAX メールアドレス (事務局からの回答及び連絡先となります。)

	お名前	ご所属	メールアドレス	お申込・受講選択 ① 前処理実習のみ ② 機器分析実習のみ ③ 前処理・機器分析の両方
	例) こうぎょう たろう 工業 太郎	製造部〇〇課	taro@a-*.co.jp	③
1				
2				

※ 1社から最大2名様の参加が可能です。

※ 2日目のみの参加の場合は、分析試料は事前調整したものを使用します。

持参サンプル(1種) ※サンプルを1種類を 御持参下さい。	固体 / 液体 どちらかに○を付けて下さい	(特徴を御記入ください)
--	--------------------------	--------------

※ 本セミナーは、公益財団法人いわて産業振興センターからの受託業務「技術力・開発力強化に係る人材育成講習委託業務」の一環で実施しています。セミナー終了後にアンケートを実施するほか、参加者各位へ県の担当者からアンケートが届く場合がございます。御協力の程願います。

※ 新型コロナウイルス等の感染予防対策により、当セミナーが中止となる場合がございます。中止の場合は、当センターHPへ掲載しますので、随時、御確認いただきますようお願いいたします。

※ 会場入りに際し、マスクの着用、手洗い消毒、事前の検温等への御協力をお願いいたします。

※ 発熱・体調不良の方はご出席をお控えいただきますようお願いいたします。